

# 2016年6月期 決算説明

2016年8月10日

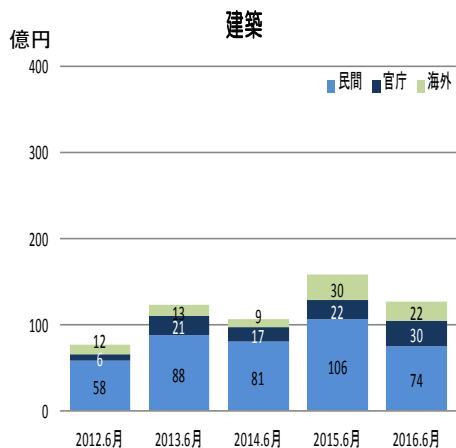
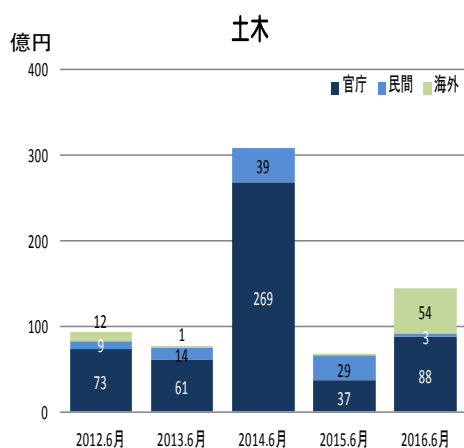
当資料には、2016年8月10日現在の経営陣の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。経済情勢などに関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。  
なお、数値は表示単位未満四捨五入で表示しています。



# 建設受注高（単体）

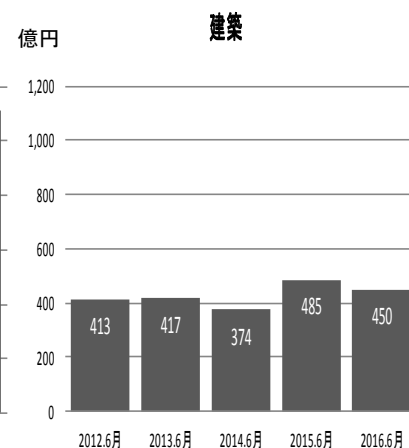
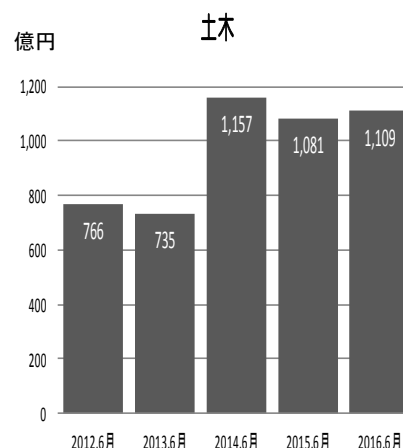
(単位:億円)	16/3期		
	第1四半期		通期
	実績	進捗率	実績
<b>土木受注</b>	<b>66</b>	<b>10.7%</b>	<b>616</b>
—国内官庁	37	8.0%	458
—国内民間	29	18.4%	155
—海外	0	17.1%	3
<b>建築受注</b>	<b>157</b>	<b>30.7%</b>	<b>512</b>
—国内官庁	22	28.7%	76
—国内民間	106	26.7%	396
—海外	30	73.1%	41
<b>建設受注計</b>	<b>223</b>	<b>19.8%</b>	<b>1,128</b>

受注高推移（第1四半期）



(単位:億円)	17/3期				
	第1四半期			通期	
	実績	前年同期比 増減率	進捗率 対通期予想	計画	予想
<b>土木受注</b>	<b>145</b>	<b>120.7%</b>	<b>21.3%</b>	<b>650</b>	<b>680</b>
—国内官庁	88	139.4%	16.2%	540	540
—国内民間	3	-88.8%	4.0%	80	80
—海外	54	—	90.1%	30	60
<b>建築受注</b>	<b>127</b>	<b>-19.3%</b>	<b>25.3%</b>	<b>500</b>	<b>500</b>
—国内官庁	30	40.0%	38.1%	80	80
—国内民間	74	-29.8%	19.0%	390	390
—海外	22	-25.7%	73.7%	30	30
<b>建設受注計</b>	<b>272</b>	<b>21.9%</b>	<b>23.0%</b>	<b>1,150</b>	<b>1,180</b>

繰越高推移（第1四半期）

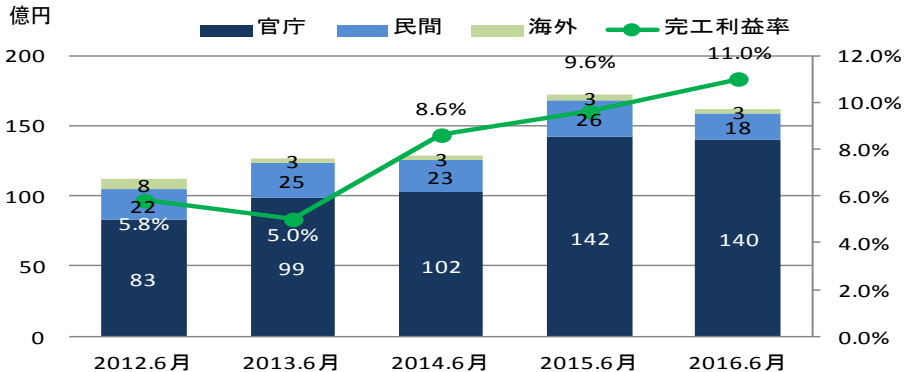


# 連結比較損益計算書

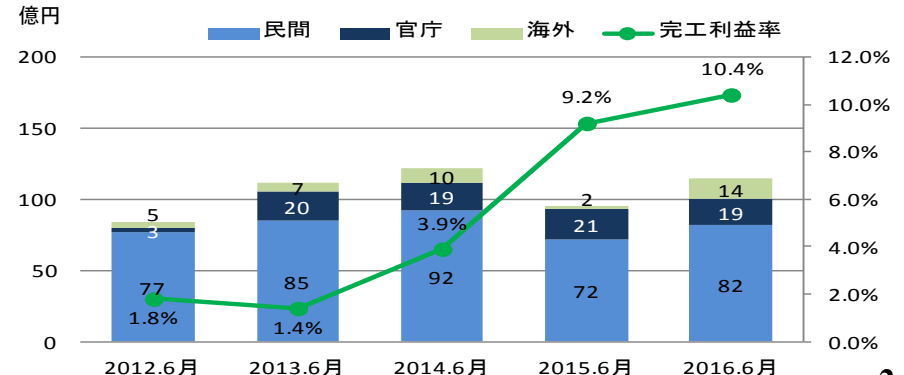
(単位:億円)	16/3期			17/3期																
	第1四半期		通期 実績	第1四半期			第2四半期		通期											
	実績	進捗率		実績	前年同期比 増減率	進捗率 対通期予想	計画	予想	計画	予想										
売上高	276	22.9%	1,207	278	0.7%	22.6%	550	590	1,230	1,230										
【参考】単体土木完工高	172	25.4%	677	161	-5.9%	23.1%	318	337	667	700										
【参考】単体建築完工高	95	19.1%	498	114	20.4%	22.8%	213	238	525	500										
売上総利益(率)	28	10.1%	23.5%	31	11.3%	13.2%	29.4%	42	7.6%	54	9.2%	101	8.2%	107	8.7%					
【参考】単体土木完工利益	16	9.6%	26.3%	63	9.2%	19.5%	45	9.0%	18	11.0%	8.2%	32.1%	22	6.8%	28	8.4%	50	7.6%	55	7.9%
【参考】単体建築完工利益	9	9.2%	19.5%	45	9.0%	36.2%	29.6%	15	10.4%	6.9%	21	8.7%	38	7.3%	40	8.1%				
一般管理費(率)	12	4.5%	24.0%	52	4.3%	14	5.0%	11.5%	24.0%	28	5.1%	29	4.9%	57	4.6%	58	4.7%			
営業利益(率)	15	5.5%	23.0%	67	5.5%	18	6.3%	14.5%	35.8%	14	2.5%	25	4.2%	44	3.6%	49	4.0%			
経常利益(率)	15	5.5%	25.1%	61	5.0%	15	5.4%	-1.7%	32.5%	13	2.4%	24	4.1%	41	3.3%	46	3.7%			
当(四半)期純利益(率)	14	4.9%	22.1%	61	5.1%	13	4.6%	-4.6%	33.1%	11	2.0%	20	3.4%	34	2.8%	39	3.2%			

完成工事高・完工利益率推移(第1四半期)

## 土木



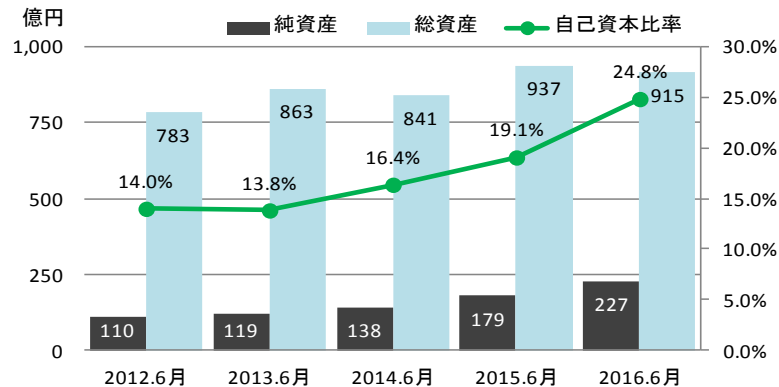
## 建築



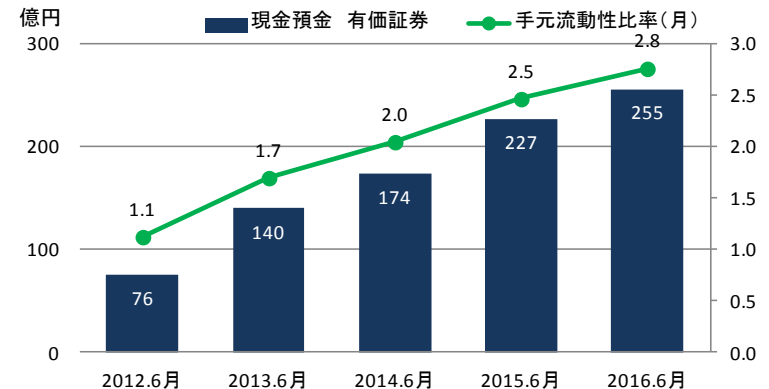
# 連結貸借対照表

(単位:億円)	16/3期		17/3期	
	第1四半期 実績	通期 実績	第1四半期 実績	16/3通期 比増減
<b>資産</b>				
一現金・預金	227	147	199	53
一受取手形・完成工事未収入金等	393	463	378	-85
一有価証券	0	0	56	56
一未成工事支出金等	28	15	19	4
一その他流動資産	83	86	62	-24
一固定資産	206	204	201	-3
<b>資産合計</b>	<b>937</b>	<b>915</b>	<b>915</b>	<b>1</b>
<b>負債</b>				
一支払手形・工事未払金等	371	367	349	-18
一短期借入金	134	0	0	0
一未成工事受入金	72	56	64	9
一長期借入金	0	100	100	0
一その他債務	181	173	175	2
<b>負債合計</b>	<b>759</b>	<b>695</b>	<b>688</b>	<b>-7</b>
<b>純資産</b> (自己資本比率)	<b>179</b> 19.1%	<b>220</b> 24.0%	<b>227</b> 24.8%	<b>8</b> 0.8%

自己資本比率推移 (第1四半期)



手元流動性比率推移 (第1四半期)



# 基本戦略の取組み

中期3カ年計画の最終年度として、施工体制の充実により業量を確保するとともに、採算性の向上により更なる収益力の強化を実現、持続的成長を図るべく安定的な経営基盤を確立する

## 土木部門

### 基盤強化に向けての戦略的な案件取組

#### 総合評価方式の継続取組強化

- 技術提案のスパイラルアップ、官積精度のさらなる向上
- 中長期的な案件取組の強化（有力案件の早期把握・選別）

#### 看板工種のシェア確保

（トンネル シールド ダム）

- 「重点案件応札サイクル」の機能強化
  - ▶プロセスチェック、事前応札検討会での検証

#### ベース収益源の利益底上

- 「案件選択基準」の厳格な遵守、原価管理フローの確実な展開
- 現場力・施工体制の強化（飛友協会との連携、生産性の向上等）

### 重点マーケットへの取組み

#### 東京五輪／リニア新幹線事業

- 東京五輪：首都圏3環状道を軸に都市再生案件の選別受注
- 中央リニア新幹線：トンネル案件への取組（社内プロジェクト組成）

### インフラ維持/更新領域の取組推進

#### 道路リニューアル工事への取組

- リニューアル技術開発の推進および営業展開

## 建築部門

### 不採算・低採算工事の徹底排除

#### 取組体制と本支店連携機能強化

- 「建築工事受注フロー」「案件選択基準」の厳格運用（取組方針会議）
- 受注審査の厳格化、工事管理体制の強化（現場管理能力、現場効率化）

### 「最良」顧客づくりの展開

#### ソリューション志向の徹底「特命化」の推進

- 民間顧客重視の取組み／企画提案営業の推進
- 重点エリアでの工務店型建築スタイルの推進

### 耐震ソリューション営業の展開

#### トグル制震技術および関連技術の展開

- 耐震リニューアル対応から新築適用へ領域拡大

### 新たなアプローチで顧客基盤を拡充

#### 建設コンシェルジュ機能の展開

- 多様化する顧客ニーズへのきめ細やかな対応強化

# 防災・減災ソリューション技術

## 地下空洞充填工法

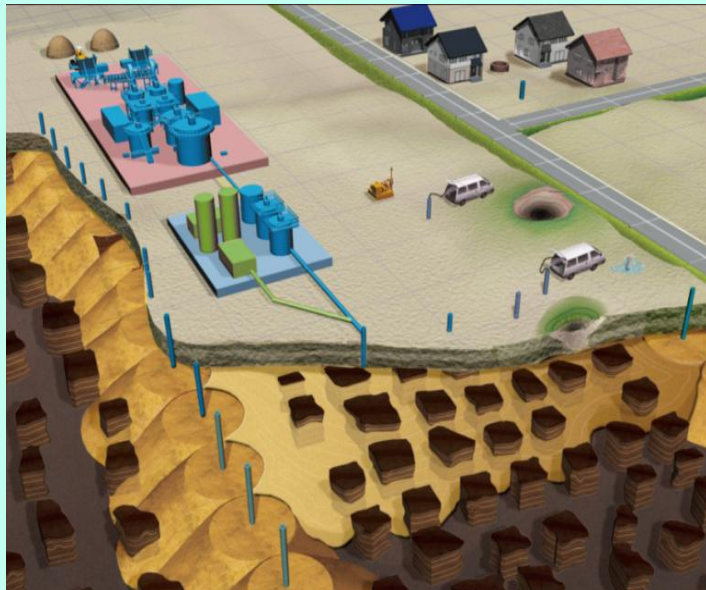
『地下空洞を充填し陥没・沈下などの被害を防止』

- 広い空洞を充填する場合には経済的
- 瞬時のゲル化により地下水の水質保全が向上
- 空洞天端に密着した充填を実現

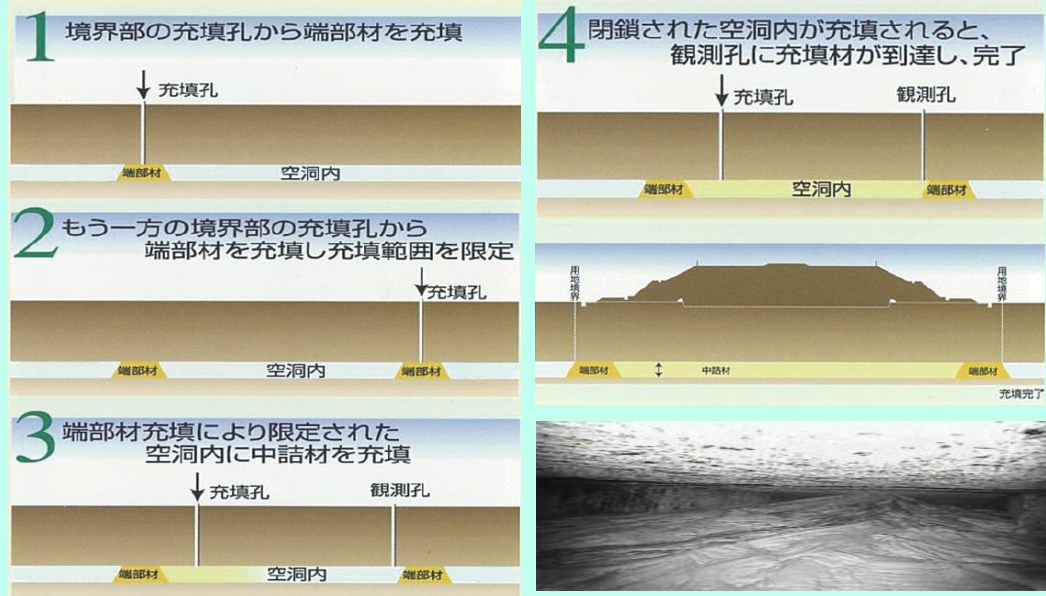
### 概要

わが国では、様々な鉱山や石材の採掘跡などの空洞が放置されています。これらの空洞は将来の巨大地震発生によって崩壊を起こし、人命や財産に重大な損失を与えることが懸念されており、早急な対応が求められています。

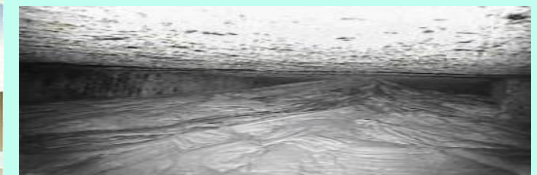
当社は、亜炭廃坑などの不要地下空洞に対する充填技術の開発、施工実績を積み重ねています。更なる空洞充填工法の汎用性拡大を目指して各種の建設副産物を主材とした充填材の適用について開発を進めています。



空洞充填施工イメージ図



施工手順



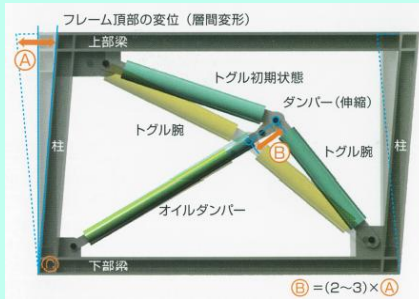
地下空洞充填状況

# 耐震ソリューション技術

## トグル制震構法

『てこの原理で効率よく地震エネルギーを吸収』

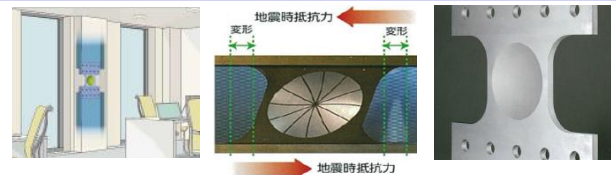
- 短工期・建物を使いながらの工事が可能
- 繰り返しの余震にも対応



## レンズ型制震ダンパー

『大切な窓を遮らない』

- シンプルな構造で地震エネルギーを吸収
- 窓等の開口部を遮らないため快適な視界を確保



## リング摩擦ダンパー

『小規模から大規模建物に対応可能』

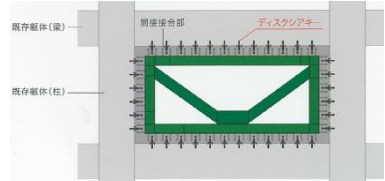
- 基本モジュールの組合せにより摩擦力・ダンパー形状を自由に設計 戸建から中高層まで幅広く



## ディスクシアキー

『静かに確実に接合する接合部材』

- 強度の低いコンクリートの構築物にも適用可能
- 様々な補強工法に適用可能



派生技術